

地域猫

佐賀市では「地域猫活動」を応援しています

「地域猫活動」とは、地域住民の方々が協力しながら野良猫に不妊去勢手術をしてこれ以上増えないようにしたうえで、適切に管理する活動です。

このように地域住民によって適切に管理される野良猫を「地域猫」といいます。

◆活動の基本となる考え方

- ①猫を排除するのではなく、命あるものとして取り組む
- ②野良猫とその被害を減らしていくために取り組む
- ③地域の皆さまの合意のもとに取り組む
- ④猫の被害で困っている人や猫を飼っていない人の立場を尊重する

◆活動内容と期待される効果

- ①不妊去勢手術
→子猫が増えない、発情期の鳴き声がなくなる等
- ②適正なエサやりとエサ場の清掃
→ゴミをあさることがなくなる等
- ③トイレの設置とフン尿の清掃
→庭先等でのフン尿被害の防止等
- ④活動状況を地域住民へ報告
→活動状況を理解してもらい周囲の理解を得る

■不妊去勢手術費用の助成をしています

地域住民の合意のもとに、自治会または3人以上のグループで地域猫活動に取り組む場合、不妊去勢手術の全部または一部について市から助成を行っています。

手術が終わった目印として耳先カットをしています。一代限りの命です。そっと見守ってください。



これまでに不妊去勢手術を受けた地域猫の数
2,322匹

(オス601匹、メス1,721匹)
(H21.4.1~R7.3.31)

猫の飼い主さんへ「適正飼育」の啓発をしています

ご近所に迷惑をかけないため、また、新たな野良猫を作らないためには、猫の飼い主さんのご協力がとても重要です。そこで、猫の飼い主さんに正しい飼い方について啓発をしています。

■ 飼い猫の不妊去勢手術の助成を行いました。

市内の猫の飼い主へ、期間を決めて不妊去勢手術の助成金を交付しました。
令和6年度はオス26匹メス65匹、合計91匹分の助成を行いました。



■ 出前講座の開催

地域の要望により、犬や猫を飼う前に知っておくと役立つ情報を紹介する講座を開催しています。猫については、完全室内飼いをするためのしつけや準備、不妊去勢手術のメリットなどについて説明しています。

■ 市内の公園等に生息する飼い主のない猫の不妊去勢手術の助成を行いました。

令和6年度はオス34匹メス64匹、合計98匹分の助成を行いました。

犬の適正な飼育

犬の登録・狂犬病予防注射

狂犬病予防法により、犬の所有者は生後91日以上犬の登録と年1回の狂犬病予防注射の接種が義務付けられています。

そこで市役所ではさまざまな業務を実施しています。

※マイクロチップを装着している犬も別途登録が必要です。

◆犬の登録・鑑札の交付

犬の飼い主は、犬の登録手続きをしなければなりません。登録後、鑑札を犬の飼い主に交付します。

(手数料 3,000 円)



鑑札の写真

●佐賀市に登録されている犬の数

11,069頭

(令和7年3月31日現在)

◆狂犬病予防注射済票の交付

犬の飼い主には、年1回、狂犬病予防注射の接種が義務付けられています。動物病院で注射を接種後、狂犬病予防注射済票の交付を受けなければなりません。

(交付手数料 550 円)



◆狂犬病予防集合注射の実施

犬の飼い主の利便性を考え、毎年4月に公民館等、市内約40箇所で狂犬病予防注射と登録・注射済票の交付が同時にできる「狂犬病予防集合注射」を実施しています。



狂犬病予防集合注射の様子

犬の適正な飼育のために

飼い主が正しい認識をもって犬を飼育できるように、「しつけ方教室」を開催しました。

ペットのしつけに関する講座(座学)1回と実技2回を1コースとし、計4コースを実施しました。

■犬のしつけ方教室

令和6年度については、「ほめて育てるしつけ方について」をテーマとし、教室を開催しました。佐賀市に登録された犬とその飼い主を対象として、外部講師による講座と実技指導を行いました。



蚊の防除

佐賀市では、「蚊の幼虫」を駆除しています

佐賀市はクリーク等が多く、蚊の生息に適した環境となっています。

市は、昭和60年度まで成虫の駆除をしていましたが、昭和61年度からは、より駆除効果の高い、幼虫（ボウフラ）駆除に切り替え、実施しています。



夜間活動する「アカイエカ」の対策

夜に人を刺す蚊の種類は、主に『アカイエカ』です。

アカイエカは、昔から佐賀平野にいて、クリークや水路で幼虫が成長し、成虫になって主に夜、人を刺します。



対策

佐賀市では、4月から9月にかけて長崎自動車道以南のクリークや水路で幼虫（ボウフラ）の調査・駆除を行い、アカイエカが増えないよう努めています。

令和6年度に調査したクリークや水路の数は約1,200か所です。

薬剤は、魚や他の昆虫に害が少ない成長制御剤や脱皮阻害剤を用います。
成虫になる事ができず、幼虫やサナギのまま死滅します。



昼間活動する「ヒトスジシマカ」の対策

昼に人を刺す蚊はヤブ蚊と呼ばれる『ヒトスジシマカ』で、草木が繁茂した場所で多く見られます。

ヤブ蚊は、家の周りの「境界ブロックの穴」や「タメマス」「植木鉢の受け皿」等の小さなたまり水で孵化し、成虫になって主に昼、人を刺します。



対策

佐賀市は、ヤブ蚊を増やさない方法として、家の周りのブロックの穴等のたまり水をなくすよう呼びかけています。

ユスリカ 対策



家の壁にはりつき、集団で蚊柱となって飛び回る、一見蚊に見える虫がいます。それが『ユスリカ』です。ユスリカは「ハエ」の仲間で、人を刺しません。

対策

ユスリカを増やさない方法（側溝やタメマスの清掃、川の清掃）をアドバイスしています。